



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン：経済状況（ガソリンの問題など）

（28日付イラン・ニュース他）

西洋諸国による対イラン追加制裁に伴うイラン国内の経済状況（ガソリンの問題など）に関して、現地メディアでは、次のように報じられている。

1. 国内経済：補助金合理化計画関連

(1) 経済変革委員会報道官兼経済財務省次官発言（29日付メフル・ニュース）

経済変革委員会報道官によると、イラン太陽暦メフル月（2010年9月23日～10月22日）末に、現金給付が実施され、その後、次の段階として、補助金の削減が実施される。現在、6000万人、1700万世帯の人々が現金給付のための口座登録を完了した。農業部門における水、エネルギーの価格は変更されない。

(2) 国会経済開発委員会委員長発言（28日付イラン・ニュース）

メスバーヒー・モガッダム国会経済開発委員会委員長は、「補助金合理化計画の実施は手術のようなものであり、医師は人々に対して、手術の利点と欠点を知らせなければならず、実施にあたって、政府は適切な対策を用意しなくてはならない」と述べた。

(3) ゴレスターン州におけるパンの値上げ（25日付ハムシャフリー・オンライン）

ゴレスターン州の人々は、これまでバルバリ（パンの一種）を500リアルで購入していたが、1000リアルに価格が引き上げられた。イラン太陽暦シャフリーヴァル月（2010年8月23日～9月22日）以降、多くの州においてパンの価格が引き上げられた。オルミーエ（西アゼルバイジャン州）、セムナン、シーラズにおいて価格が引き上げられ、ケルマーンシャー、ヤズド、アルダビール、マシュハドにおいても、昨年（2009年11月22日～12月21日）と比べ、少なくとも25%値上げされた。

2. エネルギー分野（原油、ガソリン関連）

(1) シェルによる原油取引（29日付テヘラン・タイムズ）

シェル社は、国営石油会社に対し、原油購入のために少なくとも1500億ドルを支払った。シェル社は本件に関するコメントを行っていないが、不法な取引はなんら行っていないと主張している。

(2) トルコ企業によるガソリン輸出契約停止（10月2日付イラン・ニュース、テヘラン・タイムズ）

トルコのエネルギー天然資源省タネル・ユルドゥズ大臣は、Turkish Petroleum Refineries Co. が米商務省に対しイラン向けガソリン輸出契約を停止したと伝えたことに関し、「本件

は民間企業自身の判断である」と発言し、政府の関与を否定した。

また、トルコのダーヴトオウル外務大臣は、「イランは我々にとって重要な隣国であり、両国は、多大な商業・エネルギー関係を有している。しかしながら、個々の民間企業は、自分自身の商業的な観点で物事をとらえ、自身が行う投資について最終的な評価を行っている」と発言した。

### (3) ガソリン輸出に関する国営石油会社幹部発言 (30 日付テヘラン・タイムズ)

国営石油会社の Ali-Asghar Arshi 国際局長は、イランが、初のガソリン輸出をイラクに対して行ったと述べるとともに、近い将来、さらに 3~4 回の出荷を行うと述べた。

### (4) アラク製油所のガソリン増産 (28 日付イラン・ニュース)

アラク製油所のプロジェクトマネージャーは、2 段階の開発計画により、生産能力が日量 1600 万リットルまで増加すると述べた。また、増産計画の実施により、レギュラーガソリンのオクタン価が少なくとも 90 に、ハイオクガソリンのオクタン価が少なくとも 95 まで増加するであろうと述べた。プロジェクト費用については、25 億ユーロが必要であるとし、中央銀行が 10 億ユーロを提供すると述べた。

### (5) 石油化学プラントにおけるガソリン生産 (28 日付テヘラン・タイムズ)

ハミード・レザー・カートウズィヤーン国会エネルギー委員会委員長は、石油化学プラントにおけるガソリン生産コストは高く、生産されたガソリンの価格は、国際市場価格よりも高くなるであろうと述べた。また制裁により石化プラントによるガソリン生産は不可避であるが、この取り組みは、長期的には、イランのエネルギー分野にとって損失となるであろうと述べた。

### (6) ガソリン再輸入に関する石油省高官発言 (18 日付テヘラン・タイムズ)

国営石油化学会社バヤート (Abdolhossein Bayat) 総裁兼石油省次官は、石油省が、9 月後半に、ガソリン輸入を再開する可能性があるとして述べた。また、6 つの石油化学施設におけるガソリン生産は、日量 1900 万リットルに達し、これらの施設で生産されたガソリンは、製油所に転送され、オクタン価の高いガソリンに変換されていると述べた。

### (7) ガソリン輸入の停止 (19 日付イラン・ニュース)

ミールカーゼミー石油大臣は、国内でのガソリン生産を増加させたため、海外からのガソリン輸入を停止したと述べた。また、1 カ月前に石油化学施設におけるガソリン生産を開始し、ガソリン生産量は、これまでの日量 4400 万リットルから 6650 万リットルに達した。

---

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799